



# 芳野小だより

《かしこい子 やさしい子 たくましい子》

川越市立芳野小学校  
学校だより 第4号  
令和7年7月4日  
川越市鴨田331  
電話 049-222-1264  
fax 049-229-1219

「ありがとう」には、深い感謝の気持ちが込められています！

さて、先日、私が、教室を回っていた時のお話です。帽子が落ちていたので、思わず拾うと、持ち主の男の子が「ありがとうございます。」と受け取りました。なんだか、心がほっと温まりました。

また、別の日、教室の前のろうかが、水でぬれていました。私が、「どなたか、ふいてくれませんか？」と聞いたところ、たくさんの子がぞうきんを持ってきて、きれいにふき取ってくれました。「ありがとう」と言うと、みんなにこにことした笑顔を返してくれました。心が、とても温かくなりました。

「ありがとう」と言われた私も、言った私も、心が温かくなる…。とても不思議だなと思い、「ありがとう」について調べてみました。

「ありがとう」という言葉、漢字では「有難う」と書きます。元々は、「有難し」が語源で、意味は、漢字のとおり「有ることが難しい」、つまり、めったにないことや貴重であることという意味で使われていたそうです。それがいつしか、ご褒美をいただいたり、貴重なことをしていただいたりしたときに、「有難し」や「有難い」と表現するようになり、現在の「ありがとう」になってきたのではないかとされています。

一方で、古い中国の教えに、「人間として生まれてきたこと自体が奇跡のような出来事であり、感謝すべきことである」という教えがあります。そして、私たちが日々の生活の中で当たり前のように感じていること、例えば、友人に優しくしてもらったり協力し合ったり、家族に助けてもらったり、支え合ったりすることも、実はとても貴重なことで、それに感謝することが大切なことなのだそうです。

「ありがとう」と言うと心が温まること、「ありがとう」と言われると心がほっとすること、それは、「ありがとう」という短い言葉に込められている「有難し」の深い感謝の気持ちがあるからなのでしょうね。友達や家族、先生や地域の方々、周囲の誰にでも、そして、日々の当たり前のことにも、「ありがとう」の気持ちをお互いに伝え合うことができる、そんな素敵な学校になっていくといいなと心から思います。

早いもので、1学期も残り3週間となりました。7月は、1学期のまとめの月です。学校では、テストを行ったり、通知表をお渡ししたりします。結果にばかり目がいてしまうのは、当たり前のことです。でも、結果が悪くても、その子の良さや可能性が消えてしまうわけではありません。結果から見えるその子の良さや可能性、そして、課題は何かを一緒に考えながら、ほめて認めて伸ばしていくように努めていきましょう。

(校長 生駒 義郎)